

# 平成31年度 シラバス【柔道整復学科】

盛岡医療福祉専門学校

科 目 名	英語	分 野	基礎分野	講 師 名	関井 純子
単 位 数	2単位	履修学年	1学年	履修学期	2学期
授 業 方 法	<input checked="" type="radio"/> 講義 <input type="radio"/> 実技 <input type="radio"/> 実習				
授業目的	1 英語の必要性を理解し、積極的に習得しようとする意欲を高める。 2 柔道整復師として必要な基礎的な英会話ができるようになる。				
授業内容	受付での会話から処置、食事療法の会話までを実践的な会話練習とディクテーションや英文読解などの言語活動を行い講義する。				
到達目標	受付での会話から処置、食事療法の会話までを到達目標とする				
成績評価	スピーキングテスト（面接形式）・筆記テスト				
教 科 書 教 材	自作プリント ※参考文献：東洋医学で英語を学ぶ（医歯薬出版）、English for Medicine(KINSEI出版) Clinical Scenes fro a New Age (マクミラン出版)				
備 考	※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項  評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A(80点以上)、B(79~70点)、C(69~60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。				
【担当教員の実務経験の有無】	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無				
実務経験					

# 平成31年度 シラバス【柔道整復学科】

盛岡医療福祉専門学校

科 目 名	基礎運動学	分 野	基礎分野	講 師 名	佐々木 武人
単 位 数	4単位	履 修 学 年	1学年	履 修 学 期	1・2学期
授 業 方 法	 • 実技 • 実習				
授業目的	人間の身体運動を解剖学をベースに学び、専門基礎分野に繋げる。				
授業内容	<p>運動学～運動学習までの範囲を教科書に準拠して、その内容を講義形式で解説する。            パワーポイントで講義教科書記載不足部分についてはプリントを作成して配布する。</p>				
到達目標	運動学～運動学習までの範囲を到達目標とする。				
成績評価	定期試験の成績を評価する。				
教 科 书 材	運動学 改訂第3版 教材は、教科書を要約した資料を適宜配布				
備 考	※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項 評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A(80点以上)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。				
【担当教員の実務経験の有無】	有 				
【内容】					
実務経験					

# 平成31年度 シラバス【柔道整復学科】

盛岡医療福祉専門学校

科 目 名	保健体育	分 野	基礎分野	講 師 名	久保田 豪
单 位 数	6単位	履 修 学 年	1学年	履 修 学 期	1・2・3学期
授 業 方 法	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">講義</span> • <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">実技</span> •          実習				
授業目的	柔道の基本的な礼法を身につける。また、受け身、投げ技、投げの形を習得し、昇級審査に合格する事。				
授業内容	柔道のはじまり等勉強し、受け身の基本を習得、並行して寝技の基本を学習する。投げ技、体捌きから乱取りを行い、投の形を映像で流れや動作の確認し、実際見本を見せた後、反復練習させ習得させる。				
到達目標	受身から立ち技の基本、投の形から昇級審査合格を到達目標とする。				
成績評価	認定実技審査の形式に沿って授業内に試験を実施し、評価する。				
教 科 書 材	'柔道（基本・導入編）DVD」 公益財団法人講道館				
備 考	<p>※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項</p> <p>評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>				
実務経験	<p>【担当教員の実務経験の有無】 有 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">無</span></p>				

# 平成31年度 シラバス 【柔道整復学科】

盛岡医療福祉専門学校

科 目 名	解剖学 I	分 野	専門基礎分野	講 師 名	高橋 滋美 小野寺 悟
単 位 数	3単位	履 修 学 年	1学年	履 修 学 期	1・2・3学期
授 業 方 法		講義	実技	実習	
授業目的	1・2学期：柔道整復師に必要な骨格系・筋系を理解し、臨床や国家試験合格に必要な知識の獲得を目的とする。 3学期：解剖学総論で基礎的な知識を理解し、循環器系について、心臓と脈管系及びリンパ系の構造を理解する。				
授業内容	1・2学期 骨格系…骨の総論、各論（脊柱、胸郭、上肢骨、上肢の関節、下肢骨、下肢の関節、頭蓋） 筋系…骨格筋、頭部の筋、頸部の筋、胸部の筋、腹部の筋、背部の筋、上肢の筋、下肢の筋） 3学期 教科書を中心として、過去問、模型、ビデオ等の教材を用いて行う。毎回授業初めに、前回の授業内容についての小テストを行う。				
到達目標	1・2学期 骨の構造や部位の名称、筋の作用や神経支配を理解することができる。 3学期 総論からリンパ系を理解することができる。				
成績評価	1・2学期 定期試験 3学期 出席状況、小テスト、定期試験の成績によって行う。				
教 科 書 材	解剖学（改訂第2版） グレイ解剖学 人体解剖図				
備 考	※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項 評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。				
【担当教員の実務経験の有無】	有	無			
【内容】					
実務経験					

# 平成31年度 シラバス 【柔道整復学科】

盛岡医療福祉専門学校

科 目 名	生理学 I	分 野	専門基礎分野	講 師 名	菊池 進
単 位 数	3単位	履 修 学 年	1学年	履 修 学 期	1・2・3学期
授 業 方 法		講義	実技	実習	

人体の機能を中心とした基礎的內容を理解する。

授業目的

生理学の基礎～循環の生理学、循環の生理学～消化、栄養と代謝～尿の生成と排泄までを教科書と補充プリントを行い、プレゼンテーションを併用して講義する。

授業内容

上記範囲の理解を到達目標とする。

到達目標

定期試験の成績を評価する。

成績評価

定期試験の成績を評価する。

教 科 書

生理学 改訂第3版、プリント

教 材

※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項

評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A (80点以上) 、B (79~70点) 、C(69~60点) 、D(59点以下) の4段階で評価する。

【担当教員の実務経験の有無】 有 無

【内容】

実務経験

## 平成31年度 シラバス【柔道整復学科】

盛岡医療福祉専門学校

科 目 名	高齢者の生理学的特徴・変化	分 野	専門基礎分野	講 師 名	佐々木 武人
単 位 数	1単位	履 修 学 年	1学年	履 修 学 期	3学期
授 業 方 法		講義	実技	実習	
授業目的	高齢者への施術に当たり、高齢者の生理学的特徴を理解したうえで施術を行うことが求められる事から、高齢者に関する身体機能維持・改善における運動訓練の影響などについて学ぶ。				
授業内容	柔道整復師と機能訓練指導の教科書全範囲。教科書記載不足部分についてはプリントを作成して配布。パワーポイントを使用し講義形式で実施。				
到達目標	テキスト「柔道整復師と機能訓練指導」全範囲を到達目標とする。				
成績評価	定期試験の成績と各講義の課題を加味して評価する。				
教 科 書	参考書：生理学（改訂第3版第14刷）、柔道整復師と機能訓練指導（南江堂）				
教 材	運動生理学関係並びに運動処方学の書籍 プリントによる資料配布				
※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項					
備 考	評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。				
【担当教員の実務経験の有無】	有	無			
【内容】					
実務経験					

## 平成31年度 シラバス【柔道整復学科】

盛岡医療福祉専門学校

科 目 名	競技者の生理学的特徴・変化	分 野	専門基礎分野	講 師 名	佐々木 武人
単 位 数	1単位	履修学年	1学年	履修学期	3学期
授業方法		講義	実技	実習	
授業目的	競技者への施術に当たり、競技者の生理学的特徴を理解したうえで施術を行うことについて学ぶ。				
授業内容	柔道整復師と機能訓練指導の教科書全範囲。教科書記載不足部分についてはプリントを作成して配布。パワーポイントを使用し講義形式で実施。				
到達目標	テキスト「柔道整復師と機能訓練指導」全範囲を到達目標とする。				
成績評価	定期試験の成績と各講義の課題を加味して評価する。				
教 科 書 材	参考書：生理学（改訂第3版第14刷）、柔道整復師と機能訓練指導（南江堂） 運動生理学関係並びに運動処方学の書籍 プリントによる資料配布				
備 考	※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項 評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。				
【担当教員の実務経験の有無】	有	無			
【内容】					
実務経験					

## 平成31年度 シラバス【柔道整復学科】

盛岡医療福祉専門学校

科 目 名	柔道整復術の適応	分 野	専門基礎分野	講 師 名	小野寺 悟
单 位 数	2単位	履 修 学 年	1学年	履 修 学 期	3学期
授 業 方 法		講義	実技	実習	

授業目的 適切な柔道整復術を行うため、柔道整復が適応されるか否かの判断能力を養う。

授業内容 毎回初めに小テストを行い、前回の授業内容の理解度を確認させる。過去問を解きながら教科書を精読し、教科書を読む技術を身に付けさせる。

到達目標 教科書全範囲を到達範囲とする。

成績評価 出席状況、小テスト、定期試験の成績によって行う。

教 科 書 材 柔道整復師のための医療安全学 桜井康司 他3名 南江堂 2011年

※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項  
評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A (80点以上) 、B (79~70点) 、C(69~60点) 、D(59点以下) の4段階で評価する。

【担当教員の実務経験の有無】 有  無

【内容】

実務経験

## 平成31年度 シラバス【柔道整復学科】

盛岡医療福祉専門学校

科 目 名	衛生学・公衆衛生	分 野	専門基礎分野	講 師 名	田沢 光正
単 位 数	3単位	履 修 学 年	1学年	履 修 学 期	1・2・3学期
授 業 方 法	<input checked="" type="radio"/> 講義 • 実技 • 実習				
授業目的	医療従事者として必要な健康や保健に関する概念を幅広く学ぶ。				
授業内容	衛生学・公衆衛生学の歴史から食品衛生活動、母子保健から国際保健、衛生行政と保健医療の制度から消毒を教科書に基づく講義、及び、配布する練習問題とともにプリントを行う。				
到達目標	衛生学・公衆衛生学の歴史から食品衛生活動、母子保健から国際保健、衛生行政と保健医療の制度から消毒までを理解する。				
成績評価	定期試験の成績により評価する。				
教 科 書 材	衛生学・公衆衛生学 改定第6版 (南江堂)				
備 考	<p>※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項            評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A (80点以上) 、B (79~70点) 、C (69~60点) 、D (59点以下) の4段階で評価する。</p>				
【担当教員の実務経験の有無】		<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無			
実務経験					

## 平成31年度 シラバス【柔道整復学科】

盛岡医療福祉専門学校

科 目 名	柔道整復学 I	分 野	専門分野	講 師 名	渡部 康光
単 位 数	3単位	履 修 学 年	1学年	履 修 学 期	1・2・3学期
授 業 方 法				講義	実技 実習
授業目的	骨折や脱臼、捻挫、筋・腱などの軟部組織損傷に対して施術を行う上で必要な基本的知識を総論的に学習する。				
授業内容	教科書を基に作成した資料を配布し学習する。				
到達目標	柔道整復術および柔道整復師の沿革～骨折の固有症状、骨折の症状～骨折の予後までの範囲				
成績評価	定期試験にて評価する。				
教 科 書 材	柔道整復学・理論編				
備 考	<p>※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項            評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A (80点以上)、B (79~70点)、C (69~60点)、D (59点以下) の4段階で評価する。</p>				
【担当教員の実務経験の有無】	有 無				
【内容】					
実務経験					

## 平成31年度 シラバス【柔道整復学科】

盛岡医療福祉専門学校

科 目 名	柔道整復学Ⅱ	分 野	専門分野	講 師 名	萩野 裕子
単 位 数	3単位	履 修 学 年	1学年	履 修 学 期	1・2・3学期
授 業 方 法		講義	実技	実習	
授業目的	臨床で患者様に丁寧にわかりやすく症状や施術内容を説明できることを目的として、総論では関節、筋、腱、末梢神経の構造・機能と損傷の基礎的知識について講義する。また、各論では脊椎の骨折・脱臼・軟部組織損傷について講義する。				
授業内容	教科書を中心に講義し、教科書記載不足分についてはプリントを作成して配布、又はDVDなどを使用する。授業で毎回、前回授業の復習小テストを行う。				
到達目標	関節、筋、腱、末梢神経の構造・機能と損傷の基礎的知識について理解し、人に説明する事が出来る。また、脊椎の骨折・脱臼・軟部組織損傷について理解すると共に、人に説明することが出来る。さらに、各損傷の基礎知識に基づいて治療方法を自ら考える事が出来る。				
成績評価	1学期・2学期・3学期の定期試験の成績と出席を加味して評価する。				
教 科 書 材	柔道整復学理論編（南江堂）、カラー人体解剖学（西村書店）、ネッターリー解剖学図譜（丸善）、解剖トレーニングノート（医学教育出版社）他				
備 考	※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項 評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。				
【担当教員の実務経験の有無】	有	無			
【内容】					
実務経験					

# 平成31年度 シラバス【柔道整復学科】

盛岡医療福祉専門学校

科 目 名	物理療法機器等の取扱い 分	野	専門分野	講 師 名	福沢 隆人
単 位 数	1単位	履修学年	1学年	履修学期	1学期
授 業 方 法			講義	実技	実習

授業目的  
様々な物療機器の効果・禁忌・種類などを学び患者様にも効果・概説などを説明できる能力が付くことを目標に講義を行います。

授業内容  
物理療法機器の目的・定義から牽引療法の効果・種類まで動画・画像・教科書・プリントを行いながら講義を行い板書等の他に対話形式でも授業を進めていきたいと思います。

到達目標  
物理療法機器の目的・定義から牽引療法の効果・種類を理解し、説明できること。

成績評価  
定期試験の結果にて評価。

教 科 書 材  
柔道整復学・理論編 改訂第6版

備 考  
※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項  
評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。

【担当教員の実務経験の有無】 有  無

【内容】

実務経験

## 平成31年度 シラバス【柔道整復学科】

盛岡医療福祉専門学校

科 目 名	柔道整復実技 I	分 野	専門分野	講 師 名	福沢 隆人
単 位 数	2単位	履 修 学 年	1学年	履 修 学 期	1・2学期
授 業 方 法	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">講義</span> <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">実技</span> • <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">実習</span>				
授業目的	包帯固定の技術・走行・目的を学び 臨床現場でも使える基本包帯法・冠名包帯法の固定技術習得を目指しています。				
授業内容	固定の目的からジユール包帯法まで動画・画像・教科書・プリントを用いながら講義を行い板書等の他に対話形式でも授業を進めていきたいと思います。				
到達目標	固定の目的からジユール包帯をはじめとする冠名包帯の固定法を行うことができる。				
成績評価	定期試験の結果にて評価。				
教 科 書 材	柔道整復学・実技編 改訂第2版 柔道整復学・理論編 改訂第6版 包帯固定学 第2版				
備 考	※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項 評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。				
【担当教員の実務経験の有無】	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">有</span> • <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">無</span>				
【内容】	柔道整復師として群馬県内の接骨院で3年間と半年の期間、勤務した経験有り。				
実務経験					

## 平成31年度 シラバス【柔道整復学科】

盛岡医療福祉専門学校

科 目 名	柔道整復実技Ⅱ	分 野	専門分野	講 師 名	西村 卓一
単 位 数	2単位	履 修 学 年	1学年	履 修 学 期	1・2学期
授業方法	講義	実技	実習		

基礎的な測定法や検査法の実技を行うことにより、臨床で使用する技術を習得する。

授業目的

2~4名のグループ構成により術者、患者モデル、助手役で問診・視診・触診および測定機材を用いた実技、徒手検査法を行う。

授業内容

授業展開説明、人体解剖用語説明から膝部軟部組織損傷診察及び検査（前・後十字靱帯損傷）まで履修して患者への説明、助手への指示が適切に行える。

到達目標

実技試験

成績評価

実技画像プリント、柔整理論教科書、柔整実技教科書、角度計、打腱器、  
メジャー、巻軸帶、クライメル金属副子、厚紙副子、ホワイトテープ

※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項

評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A (80点以上) 、B (79~70点) 、C (69~60点) 、D (59点以下) の4段階で評価する。

【担当教員の実務経験の有無】  有  無

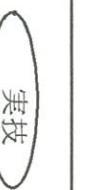
【内容】

柔道整復師として福島県内の接骨院で2年間勤務した経験有り。岩手県内の接骨院で12年間勤務した経験有り。

実務経験
------

## 平成31年度 シラバス【柔道整復学科】

盛岡医療福祉専門学校

科 目 名	高齢者の外傷予防	分 野	専門分野	講 師 名	西村 卓一
単 位 数	1単位	履 修 学 年	1学年	履 修 学 期	3学期
授 業 方 法	講義  実習				
高齢者に好発する外傷について説明を行い、臨床で使用する治療技術を習得する。					
授業目的					
到達目標	2~4名のグループ構成により術者、患者モデル、助手役で問診・視診・触診および徒手検査法、整復法、固定法を行う。				
授業内容	高齢者に特徴的な外傷とその予防から股関節包帯法まで履修して適切な治療を行えるようになる。				
成績評価	実技試験				
教 科 书 材	実技画像プリント、柔整理論教科書、柔整実技教科書、角度計、打腱器、メジャー、巻軸帶、クリーメル金属副子、厚紙副子、ホワイトテープ				
備 考	※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項 評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A（80点以上）、B（79~70点）、C（69~60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。				
【担当教員の実務経験の有無】  • 					
実務経験	【内容】 柔道整復師として福島県内の接骨院で2年間勤務した経験有り。岩手県内の接骨院で12年間勤務した経験有り。				

## 平成31年度 シラバス【柔道整復学科】

盛岡医療福祉専門学校

科 目 名	競技者の外傷予防	分 野	専門分野	講 師 名	福沢 隆人
単 位 数	1単位	履 修 学 年	1学年	履 修 学 期	3学期
授 業 方 法	講義  実技	実習			

**授業目的** 競技ごとに多い外傷を理解し外傷の予防法と治療法を理解することを目指しています。

**授業内容** 足関節のテープニングから指関節のテープニングまで動画・画像・教科書・プリントを用いながら講義を行い板書等の他に対話形式でも授業を進めていきたいと思います。

**到達目標** 足関節のテapingから指関節のテaping固定ができる。

**成績評価** 定期試験の結果にて評価。

**教 科 書 材** 柔道整復学・実技編 改訂第2版 柔道整復学・理論編 改訂第6版  
包帯固定学 第2版

**※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項**  
評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A (80点以上) 、B (79~70点) 、C(69~60点) 、D(59点以下) の4段階で評価する。

**【担当教員の実務経験の有無】**  • 無

**【内容】**

柔道整復師として群馬県内の接骨院で3年間と半年の期間、勤務した経験有り。

**実務経験**

## 平成31年度 シラバス【柔道整復学科】

盛岡医療福祉専門学校

科 目 名	臨床実習 I	分 野	専門分野	講 師 名	福沢 隆人
単 位 数	1単位	履 修 学 年	1学年	履 修 学 期	1・2・3学期
授 業 方 法	講義 <input checked="" type="radio"/> 実技 <input checked="" type="radio"/> 実習				
授業目的	上肢・体幹・下肢の筋肉・骨・関節・韌帯を解剖学的に理解し適切な触察ができることを目的とする。				
授業内容	肩甲帯・臍部から股関節周辺までの触察までを動画・画像・教科書・プリントを用いながら講義を行い板書等の他に対話形式でも授業を進めていきたいと思います。				
到達目標	肩甲帯・臍部から股関節周辺の触察までを到達目標とする。				
成績評価	出席・臨床実習日誌の内容と提出度・講義への姿勢など様々なものを加味し、評価を行う。				
教 科 書 材	柔道整復学・理論編 改訂第6版 解剖学第2版				
備 考	※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項 評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A(80点以上)、B(79~70点)、C(69~60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。				
【担当教員の実務経験の有無】	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>				
【内容】					
実務経験					



## 平成31年度 シラバス【柔道整復学科】

盛岡医療福祉専門学校

科 目 名	解剖学 II	分 野	専門基礎分野	講 師 名	石関 清人
単 位 数	3単位	履 修 学 年	2学年	履 修 学 期	1・2・3学期
授 業 方 法		講義	実技	実習	
授業目的	消化器官の種類、呼吸器官と臓器固有の働きと解剖学的な組織構築、発生学の基礎的な器官と成る男性生殖器と女性生殖器の構造、泌尿器系、内分泌腺の組織構造とホルモン分泌の関係、中枢神経系の構成と分布これらを機能面と関連づけて理解し、人体の体表から触知できる器官や組織を理解する。				
授業内容	消化器官の種類、呼吸器官と臓器固有の働きと解剖学的な組織構築、発生学の基礎的な器官と成る男性生殖器と女性生殖器の構造、泌尿器系、内分泌腺の組織構造とホルモン分泌の関係、中枢神経系の構成と分布				
到達目標	解剖学教科書の消化器系から呼吸器系までを理解する。				
成績評価	定期試験の結果によって評価する。				
教 科 書 材	指定教科書と配布プリント				
備 考	<p>※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項            評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A (80点以上) 、B (79~70点) 、C (69~60点) 、D (59点以下) の4段階で評価する。</p>				
【担当教員の実務経験の有無】	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>				
実務経験					

## 平成31年度 シラバス【柔道整復学科】

盛岡医療福祉専門学校

科 目 名	生理学 II	分 野	専門基礎分野	講 師 名	高島 浩一郎
単 位 数	3単位	履 修 学 年	2学年	履 修 学 期	1・2・3学期
授 業 方 法		講義	実技	実習	

**授業目的** 生理学の教科書の後半について、身体の各部分の働きと仕組みを述べる。後半部分と関連がある場合には、教科書の前半の内容についても、扱う。

**授業内容** 内分泌系から体液の調節、神経細胞から骨格筋、筋収縮機構から平衡感覚までを行い、教科書記載不足部分についてはプリントを作成して配布。また、授業ごとに問題を解く作業も行う。視聴覚教材をできるだけ多く利用する。

**到達目標** 内分泌系から平衡感覚までを理解する。

**成績評価** 定期試験の成績と各講義の課題を加味して評価する。

**教 科 书 材**  
生理学教科書

**※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項**  
評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。

**【担当教員の実務経験の有無】** 有  無

**実務経験**

## 平成31年度 シラバス【柔道整復学科】

盛岡医療福祉専門学校

科 目 名	病理学	分 野	専門基礎分野	講 師 名	増田 由紀子
単 位 数	3単位	履 修 学 年	2学年	履 修 学 期	1・2・3学期
授 業 方 法	 • 実技 • 実習				

**授業目的** 疾病の概念を明らかにするため疾病の原因・各種の疾患の基礎知識を学ぶ。

**授業内容** 病理学教科書の第1章から第10章までをプリントに準じて解説→要点のまとめプリント(課題)→演習問題 の順に行う。

**到達目標** 病理学教科書の第1章から第10章までを理解する。

**成績評価** 定期試験

**教 科 書 材** 病理学概論(医歯薬出版) オリジナルプリント

**※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項**  
評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A(80点以上)、B(79~70点)、C(69~60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。

**【担当教員の実務経験の有無】** 有 

**実務経験**

## 平成31年度 シラバス【柔道整復学科】

盛岡医療福祉専門学校

科 目 名	一般臨床医学	分 野	専門基礎分野	講 師 名	久保川 学
単 位 数	3単位	履 修 学 年	2学年	履 修 学 期	1・2・3学期
授 業 方 法		講義	実技	実習	

授業目的	臨床医学の基本的事項を学習し、代表的疾患に関する知識を身に着けることにより、合併症のある患者さんの診察や治療の際の注意事項を理解し、適切に対処できるようになります。				
授業内容	臨床医学概論～反射検査、臨床症状1～肝・胆道疾患、脾疾患～リウマチ・膠原病まで講義を行なう。				
到達目標	臨床医学概論～反射検査、臨床症状1～肝・胆道疾患、脾疾患～リウマチ・膠原病を理解する。				
成績評価	各学期末試験の成績で判定する。試験成績が平均60点以上の者を合格とする。なお、各学期間に複習試験を行う予定である。				
教 科 书 材	一般臨床医学 改訂第3版（南江堂）				
備 考	<p>※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項            評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A (80点以上) 、B (79～70点) 、C (69～60点) 、D (59点以下) の4段階で評価する。</p>				
【担当教員の実務経験の有無】	有 無				
【内容】					
実務経験					

## 平成31年度 シラバス【柔道整復学科】

盛岡医療福祉専門学校

科 目 名	整形外科学	分 野	専門基礎分野	講 師 名	久保川 学
単 位 数	3単位	履 修 学 年	2学年	履 修 学 期	1・2・3学期
授 業 方 法	講義 ・ 実技 ・ 実習				

**授業目的** 整形外科学の知識は柔道整復師と重なる部分も多い最も身近な臨床医学科目であり、その知識を身に着けることにより、自らの治療可能範囲や治療の適切性を知ることができます。

**授業内容** 整形外科概論～スポーツ整形外科総論、身体別各論を教科書の内容に準じた授業を行う。具体的には教科書に準じたスライドを提示し、また各自にはスライドと同等の資料を配布し、重要事項をその都度強調しながら進める。

**到達目標** 整形外科概論～スポーツ整形外科総論、身体別各論までを理解する。

**成績評価** 定期末試験の成績で判定する。試験成績が平均60点以上の者を合格とする。

**教 科 書 材** 「整形外科学 改訂第4版」 公益社団法人 全国柔道整復学校協会監修、南江堂

**備 考** ※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項  
評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。

**【担当教員の実務経験の有無】** 有

無

**実務経験**

## 平成31年度 シラバス【柔道整復学科】

盛岡医療福祉専門学校

科 目 名	リハビリテーション医学 分 野	専門基礎分野	講 師 名	上濱 龍也
单 位 数	3単位	履 修 学 年	2学年	履 修 学 期 1・2・3学期
授 業 方 法	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">講義</span> • 実技 • 実習			
授業目的	柔道整復師として必要な、リハビリテーションの概念、障害学、評価法や治療などリハビリテーション医学の基本を学習する。			
授業内容	リハビリテーション医学教科書の第1章から第11章までを講義形式で行う。			
到達目標	リハビリテーション医学教科書の第1章から第11章までを理解する			
成績評価	期末試験の成績により評価する。			
教 科 書 材	リハビリテーション医学（南江堂）			
備 考	※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項 評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A(80点以上)、B(79~70点)、C(69~60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】	有 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">無</span>			
実務経験				

# 平成31年度 シラバス【柔道整復学科】

盛岡医療福祉専門学校

科 目 名	関係法規	分 野	専門基礎分野	講 師 名	高橋 陽平
単 位 数	1単位	履 修 学 年	2学年	履 修 学 期	3学期
授 業 方 法			講義 ・ 実技 ・ 実習		

**授業目的** 柔道整復師として業務に従事するうえで、柔道整復法やその他医療に関する法律を理解し、業務や国家試験の問題に生かせる知識の習得を目的とする。

**授業内容** 関係法規教科書の序論から個人情報までを座学・プリント授業で行う。

**到達目標** 関係法規教科書の序論から個人情報までの知識を国家試験の問題を理解し回答できる能力を身につけることができるようとする。

**成績評価** 定期試験

**教 科 书 材** 関係法規教科書（改訂第2版）

**※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項**  
評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。

**【担当教員の実務経験の有無】** 有  無

**実務経験**

# 平成31年度 シラバス【柔道整復学科】

盛岡医療福祉専門学校

科 目 名	柔道 I	分 野	専門基礎分野	講 師 名	渡部 康光
単 位 数	1単位	履 修 学 年	2学年	履 修 学 期	3学期
授 業 方 法	講義   実技	・	実習		

授業目的 柔道の基本的な礼法や技法を習得し初段を目指し、柔道を通じて柔道整復師としての人格を陶冶する。

授業内容 投げの形から約束乱取までを道場にて実技を行う。

到達目標 投げの形の習得。

成績評価 定期試験にて評価する。

教 科 書 材 講道館柔道 投の形

※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項  
評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。

【担当教員の実務経験の有無】 有  無

実務経験

## 平成31年度 シラバス【柔道整復学科】

盛岡医療福祉専門学校

科 目 名	柔道整復学Ⅲ	分 野	専門分野	講 師 名	佐々木 智章
単 位 数	3単位	履 修 学 年	2学年	履 修 学 期	1・2・3学期
授 業 方 法		講義	実技	実習	

授業目的	総論で学んだ知識を基に、具体的な損傷に関する知識獲得を目標とし、獲得した知識を適切な患者評価につなげることを目的とする。
授業内容	鎖骨骨折・肩甲骨・骨折・上腕骨骨折・前腕骨・骨折・手根骨・骨折 指骨・骨折・鎖骨脱臼・肩関節脱臼・肘関節脱臼・手関節脱臼・指関節脱臼 上肢軟部組織損傷
到達目標	各損傷について発生機序から症状等を理論的に考えられる。 整復・固定について理論的にその方法等を考えられる。 症状より損傷部位の特定・程度評価、施術方法などを考える。
成績評価	定期試験評価（記述式および四者択一あるいは四者択二）
教 科 书 材	柔道整復学・理論編（改訂第6版）、適宜プリントを配布
備 考	※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項 評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。
【担当教員の実務経験の有無】	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>
【内容】	
実務経験	

## 平成31年度 シラバス【柔道整復学科】

盛岡医療福祉専門学校

科 目 名	柔道整復学IV	分 野	専門分野	講 師 名	西村 韶一
単 位 数	3単位	履 修 学 年	2学年	履 修 学 期	1・2・3学期
授 業 方 法		講義	実技	実習	
授業目的	下肢の外傷の実際について知り、人体の構造と機能の面から負傷の要点について考え方を深め臨床現場での診察や国家試験問題を考察できるようになる事。				
授業内容	板書、教科書音読、プリント参考文献、小テスト、プロジェクトの確認を行う。				
到達目標	骨盤骨・骨折から足部障害まで履修して診察内容や国家試験問題を考察できるようになる。				
成績評価	定期試験評価100%				
教 科 書 材	柔道整復学・理論編 改訂第6版 柔道整復学・実技編 改訂第3版 標準整形外科学 改訂第12版 骨折・脱臼 改訂第4版				
備 考	※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項 評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。				
【担当教員の実務経験の有無】	有	無			
【内容】					
実務経験					

# 平成31年度 シラバス【柔道整復学科】

盛岡医療福祉専門学校

科 目 名	柔道整復実技III	分 野	専門分野	講 師 名	松岡 靖
単 位 数	3単位	履 修 学 年	2学年	履 修 学 期	1・2・3学期
授 業 方 法	講義 ・  ・ 実習				

授業目的  
3年次に控える認定実技審査を見据え、同審査で行われる上肢の骨折・脱臼・軟部組織損傷について、整復法、検査法及び固定法を習熟させるとともに、臨床現場で活用できる技能の習得を目的とする。

授業内容  
骨折の部・・・鎖骨骨折、上腕骨外科頸骨折、コーレス（Colles）骨折、（手）舟状骨骨折、第5中手骨頸部骨折  
脱臼の部・・・肩鎖関節脱臼、肩関節脱臼、肘関節脱臼、肘内障、第2指PIP関節背側脱臼  
軟部組織損傷の部・・・腱板損傷、上腕二頭筋長頭腱損傷、肘関節内側靱帯損傷、上腕骨内側上頸炎、上腕骨外側上頸炎  
ほか、上肢損傷の整復法・検査法・固定法を2~4名のグループで術者役・患者役・助手役を適宜分担し実施する。

到達目標  
各損傷の発生機序、症状、合併症、鑑別診断、後療法を理解し適切に対応できる。  
整復法、固定法について、適切な肢位・範囲にて材料を用いて実施できる。  
患者への説明、助手への指示が適切に行える。

成績評価  
実技試験の結果を主に、出席状況、授業態度等を加味して評価する。

教科書教材  
柔道整復学・実技編（改訂第2版）、同理論編（改訂第5版）ほかプリントを配布する。  
包帯・クリーメル副子・厚紙副子・三角巾・テープ・ピン等を使用する。  
※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項  
評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A（80点以上）、B（79~70点）、C（69~60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。

【担当教員の実務経験の有無】  • 無

【内容】

実務経験  
柔道整復師として岩手県内の接骨院で10年間勤務した経験有り。

## 平成31年度 シラバス【柔道整復学科】

盛岡医療福祉専門学校

科 目 名	柔道整復実技IV	分 野	専門分野	講 師 名	高橋 陽平
単 位 数	3単位	履 修 学 年	2学年	履 修 学 期	1. 2. 3学期
授 業 方 法	講義  実技	実習			

**授業目的**  
3年時に控える認定実技審査を見据え、損傷における発生機序・症状・検査法・固定法の基礎能力の向上を目的とする

**授業内容**  
下肢の検査法から大腿部打撲までを2~4名グループで受診者・患者モデル・助手役を構成し、認定実技審査を想定した形式で行う。

**到達目標**  
各損傷の発生機序、症状など口述の項目を理解し対応でき、整復法、検査法、固定法について、適切な肢位・範囲において材料を用いて対応できること。また患者への説明や助手への指示を適切に行えるようにすることができる目標とする。

**成績評価**  
実技試験（認定実技用の評価表を基に評価）

**教 科 書 材**  
柔道整復学理論教科書（改訂第6版）柔道整復実技教科書（改訂第2版）  
包帯・ホワイトテープ・厚紙副子・クーラーメル副子など

**※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項**  
評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A（80点以上）、B（79~70点）、C（69~60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。  
備考

**【担当教員の実務経験の有無】**  有  無

**【内容】**

柔道整復師として東京都の整形外科で5年間勤務、接骨院で2年勤務した経験有り。

**実務経験**

## 平成31年度 シラバス【柔道整復学科】

盛岡医療福祉専門学校

科 目 名	臨床実習Ⅱ	分 野	専門分野	講 師 名	西村 韶一
単 位 数	1単位	履 修 学 年	2学年	履 修 学 期	1・2・3学期
授 業 方 法	講義	・ 実技	・ <input checked="" type="circle"/> 實習		

臨床現場での実習を行うことで、より高度な知識や技術を習得するとともに柔道整復師としてのあるべき姿勢などに關して総合的に學習する。

**授業目的**

救命救急マネキンモデルを用いた救命処置法、介護現場での機能訓練指導法、スポーツ現場でのトレーニング・ストレッチ指導法、医の倫理、アクシデント・インシデント、高齢者・競技者の外傷予防など、外部見学実習及び附属臨床実習施設での見学実習、医療面接（ロールプレイ方式・施術録作成）、3年生実技試験スタッフ参加

救命救急法から医療面接まで履修して適切に行えるようになる。

**到達目標**

臨床実習レポート、出席回数、授業態度、小テスト等の総合評価

**成績評価**

救命救急マネキンモデル、AEDキット、救命救急プリント、車いす、松葉杖、T字杖、バランスボール、セラバンド、トレーナープリント、介護プリント

※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項

評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A (80点以上)、B (79~70点)、C(69~60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。

**【担当教員の実務経験の有無】** 有  無

**【内容】**

**実務経験**

## 平成31年度 シラバス【柔道整復学科】

科 目 名	臨床実習Ⅲ	分 野	専門分野	講 師 名	盛岡医療福祉専門学校 臨床実習指導者講習会受講者、各医療機関等の指導担当者
单 位 数	1単位	履 修 学 年	2学年	履 修 学 期	随時
授 業 方 法	講義 ・ 実技 ・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">実習</span>				
授業目的	臨床現場での実習を行うことで、より高度な知識や技術を習得するとともに柔道整復師としてのあるべき姿勢などに關して総合的に學習する。				
授業内容	<p>(公社) 全国柔道整復学校協会臨床実習ガイドライン検討委員会編「柔道整復師臨床(地)実習ガイドライン」記載の評価項目(態度、付帯業務、診察、物理療法、施術の介助、固定、その他)を状況に応じて適宜実施する。</p>				
到達目標	<p>(公社) 全国柔道整復学校協会臨床実習ガイドライン検討委員会編「柔道整復師臨床(地)実習ガイドライン」記載の評価項目(態度、付帯業務、診察、物理療法、施術の介助、固定、その他)に関して各指導担当者が評価する。</p>				
成績評価	<p>(公社) 全国柔道整復学校協会臨床実習ガイドライン検討委員会編「柔道整復師臨床(地)実習ガイドライン」記載の評価項目(態度、付帯業務、診察、物理療法、施術の介助、固定、その他)に関して各指導担当者が評価する。</p>				
教 科 书 材	各施術所・医療機関等の指示による				
備 考	<p>※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項</p> <p>評価について：(公社) 全国柔道整復学校協会臨床実習ガイドライン検討委員会編「柔道整復師臨床(地)実習ガイドライン」記載の評価項目(態度、付帯業務、診察、物理療法、施術の介助、固定、その他)に関し、総合的に A(80点以上)、B(79~70点)、C(69~60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。</p>				
【担当教員の実務経験の有無】	有 • <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">無</span>				
【内容】					
実務経験					

